

宮澤先生ご略歴・ご業績

宮澤 ^{みやざわ} 正順 ^{まさより} (僧名 しょうじゅん)

【ご略歴】

1931年 神奈川県横須賀市生まれ

現 職 厚木市 西福寺 住職

埼玉工業大学特任客員教授

日本道教学会名誉理事

静寛院和宮奉賛会 評議員

文学博士・浄土宗勸学

元 大正大学 教授

NHK教育テレビ古典講座 講師

駒澤大学 講師

日本大学 講師

京都西山短大 講師

全国漢文教育学会 理事

日韓・日中韓仏教交流協議会 理事

日中友好浄土宗協会 理事 等

【ご業績】

[著書]

『素問・霊枢』（1994年1月 明德出版社）

『香りの比較文化誌』共編（2001年1月 北樹出版）

『曾慥の書誌的研究』（2002年2月 汲古書院）

『道枢一字索引』共編（2002年3月 松香堂）

『蕪村・一茶・漱石と浄土信仰』（2006年1月 明德出版社）

『養生訓のことば』（2012年7月 湯島斯文会）

『東国における隆寛律師の研究』2019年9月（文化書院）

[翻訳]

『中国の道教』監訳（金正耀著 1995年3月 平河出版社）

[論文]

「陶淵明の隠逸について」1954年12月『大正大学学報』第5号

「抱朴子と張角一派」1956年3月

『宗教文化』11輯（大正大学宗教文化研究会）

「陶淵明と仏教について」1957年10月『宗教文化』12輯

「水陸会資料としての奉法要」1961年1月

『宗教研究』第166号（日本宗教学会）

「水陸会の起源とその内容」1961年6月『宗教文化』15輯

「陶淵明の「乞食」詩の成立について」1963年2月

『仏教史学』第10巻4号（仏教史学会編 平楽寺書店）

「蕪村の浄土信仰」1969年12月『印度學佛教學研究』第18巻1号

「漱石文学に投影せる淵明の作品」1970年11月

『国語展望』26号（尚学図書）

「抱朴子考（四庫提要）」1971年9月

『漢魏文化』第8号（漢魏文化研究会）

「蕪村の師早野巴人－即随寺過去帳の紹介－」1971年5月

『かながわ高校国語の研究』第4集

「田宮仲宣の蕪村観」1971年6月『角川国語科通信』No.21

「与謝蕪村小考」1971年9月

『戸高談話』第1号（横浜市立戸塚高等学校談話会）

「漱石における名前の意味」1973年2月『戸高談話』第2号

「漱石の『心』と日記に関する考証」1974年3月『戸高談話』第3号

「漱石の親友菅虎雄のこと」1975年3月『戸高談話』第4号

- 「陶淵明の子供を詠める詩をめぐって」1976年6月
『中哲文学会報』第2号（東大中哲文学会）
- 「抱朴子における本末思想」1977年6月
『吉岡博士還暦記念道教研究論集 道教の思想と文化』（吉岡義豊博士
還暦記念論集刊行会）
- 「夏目漱石と仏教 特に他力浄土門との関係 上」1977年7月
『日本仏教』第42号（日本仏教研究会）
- 「夏目漱石と仏教 特に他力浄土門との関係 下」1977年10月
『日本仏教』第43号
- 「曇鸞法門と道教思想の一考察」1980年3月
『中国学研究 吉岡義豊博士追悼號』第3号（大正大学中国学研究室）
- 「葛洪の老子批判について」1980年10月
『東方宗教』第56号（日本道教学会 編）
- 「陶淵明の仏教思想」1981年7月『国語』第209号（東京書籍）
- 「陶淵明と劉柴桑」1981年10月
『日本中国学会報』第33集（日本中国学会）
- 「陶淵明を顕彰した仏教者たち」1982年1月
『大学時報』第167号（日本私立大学連盟）
- 「舌本考」1982年6月『中哲文学会報』第7号
- 「道教の食文化論」1982年9月
『酒井忠夫先生古稀祝賀記念論集 歴史における民衆と文化』（国書刊
行会）
- 「中国の自然観」1982年12月『比較思想研究』第9号（比較思想学会）
- 「善導大師の屠兒教化譚について」1983年9月
『仏教論集』第27号（浄土宗教学院）
- 「道教の人身論」1984年3月
『竹中博士頌寿記念論文集 宗教文化の諸相』（山喜房仏書林）
- 「善導大師の思想 - 二河白道 -」1984年4月

- 『宗教』266号（宗教新潮社）
- 「中国文学史よりみた善導大師」1984年5月
『浄土教 その伝統と創造Ⅱ』（山喜房佛書林）
- 「道枢の一考察」1984年5月 『東方宗教』第63号（日本道教学会）
- 「道教文学序説」1984年6月
『中国の宗教・思想と科学 牧尾良海博士頌寿記念論集』（国書刊行会）
- 「道教の寿命論」1984年8月
『那須政隆博士米寿記念 仏教思想論集』（成田山新勝寺）
- 「中国思想よりみた二河白道の譬喩」1984年9月
『佛教論叢』第28号（浄土宗教学院）
- 「三祖教学の一考察 - その外学思想を中心として -」1985年9月
『佛教論叢』第29号
- 「道教における詩経」1985年 『詩経研究』第10号（詩経学会）
- 「仏教・道教思想」1986年1月 『中国思想文学通史』（中村璋八編著 明治書院）
- 「『道教靈驗記』について」1986年3月
『三康文化研究所年報』第18号（三康文化研究所）
- 「良忠上人の依用文献」1986年5月
『良忠上人研究 浄土宗第三祖大本山光明寺御開山記主良忠上人七百回遠忌記念』（大本山光明寺良忠上人研究会編）
- 「源智上人の阿弥陀如来造立願文について」1986年6月
『勢観房源智上人』華頂文庫No.29（総本山知恩院布教師会）
- 「道教典籍に見える周身部分の名称について」1986年6月
『東方宗教』第67号
- 「報夢鈔引用の典籍に関する一考察 - 外典を中心として -」1987年3月
『仏教文化研究』第32号（浄土宗教学院）
- 「『道枢』の構成について - 「坐忘篇」を中心として -」1988年2月
『大正大学研究紀要』第73号

- 「『道枢』 悟真篇と張平叔の『悟真篇』について」1988年3月
『中国学研究』 第7号（大正大学中国学研究会）
- 「僧一行の『天真皇人九仙経』と曾慥の『道枢』 九仙篇について」
1989年11月『日本中国学会報』 第41号（日本中国学会）
- 「陶淵明《乞食》詩“冥報”思想辨証 - 兼論《陶集》中反報応情緒の指向 -」
1990年1月（中国）
『万県師範学報』（1990年第1期総第7期（丁永忠『陶詩仏音弁』収録））
- 「道教と中国食文化」1988年3月 中山時子監修『中国食文化辞典』（角川書店）
- 「『道枢』 黄帝問篇について」1990年3月
『斎藤昭俊教授還暦記念論集 宗教と文化』（こびあん書店）
- 「天真皇人について」1990年3月
『中国学研究』 第9号（大正大学中国学研究会）
- 「道教と緯書 - 三字の篇題を中心として -」
『中国中世の儒・仏・道三教における讖緯思想の研究』平成元年度
科学研究費補助金一般研究(B) 報告書（大正大学中国学研究室）
- 「『素問』『靈枢』について - 南宋の道士曾慥の撰著を中心として -」
1990年11月『沼尻正隆博士退休記念論集 中国学論集』（汲古書院）
- 「『列仙伝』と『神仙伝』について - 曾慥の『類説』を中心として -」
1991年2月『牧尾良海博士頌寿記念 儒仏道三教論』（山喜房仏書林）
- 「青羊宮・青城山・鬼城・黄鶴楼」1991年3月
『台友』 第16号（大正大学天台学研究室）
- 「道教と養生法」1991年11月『しにか』 通巻20号（大修館）
- 「心身について」1991年11月『新しい漢文教育』 第13号（研文社）
- 「達磨大師胎息論の評価について」1991年12月『塩入良道先生追悼論文
集 天台思想と東アジア文化の研究』（山喜房仏書林）
- 「曇鸞大師の調気と達磨大師の胎息について - 仏教と民俗の観点から -」
1992年3月『中国学研究』 11号（大正大学中国学研究会）

- 「緯書に関する二三の考察」1993年2月
『緯学研究論叢－安居香山博士追悼－』（平河出版社）
- 「『図説世界の宗教大辞典』における道教に関する諸項目について」
『フランスにおける中国宗教研究の手法と歴史』平成3年・4年度
科学研究費補助金総合研究(A)
- 「道教と薬」1993年3月『しにか』通巻36号（大修館）
- 「白居易の三教への態度」1993年6月『白居易研究講座』第1巻（勉誠社）
- 「中国浄土教の展開と『抱朴子』」1993年9月
『佛教論叢』第37号（浄土宗教学院）
- 「道教の生死観」1993年11月『仏教大学総合研究所報』第5号
- 「『急急如律令』について－中日儀礼の交渉－」1994年2月
『儀礼文化』第20号（儀礼文化学会）
- 「曾慥と『真誥』について」1994年3月『中国学研究』第13号
- 「道教の人間学－曾慥と『黄庭経』－」1994年3月
『大正大学研究論叢』第2号
- 「道教学の人間観－中国文化の中の人間学－」1994年4月
『仏教文化学会紀要』第2号（仏教文化学会）
- 「南宋初期の道教資料としての『類説』」1994年9月
『佛教論叢』第38号（浄土宗教学院）
- 「『類説』の中の仏教資料について」1994年11月
『大久保良順先生卒寿記念論文集 仏教文化の展開』（山喜房仏書林）
- 「海外美術館における法然上人－フリーア及びギメ美術館を中心として－」
1995年4月『仏教文化学会紀要』第3号
- 「道綽禪師における中国思想について」1995年9月
『仏教文化研究』第40号（浄土宗教学院）
- 「曾慥について」1996年1月
『中村璋八博士古稀記念東洋学論集』（汲古書院）
- 「中国の生死観－道教を中心として－」1996年1月

- 『東西の生死観』（法蔵館）
- 「道教と写経の歴史」1996年1月『中外日報』第25405号
- 「念仏の数遍について」1996年4月
- 『浄土』1996年4月号（法然上人鑽仰会）
- 「陶淵明と道教について」1996年5月『漢文教室』第182号（大修館）
- 「至游居士曾慥と廬山について」1996年6月
- 『佛教論叢』第40号（浄土宗教学院）
- 「道教と異文化接触－序説－」1996年7月
- 『異文化の出会いとイメージ』（大正大学学術研究助成委員会）
- 「写経の字数と念仏の数遍について」1996年10月
- 『水莖』第21号（古筆学研究所）
- 「『玄中』の語義を中心とした陶弘景・曇鸞・道綽論」1997年3月
- 『中国学研究』第16号（大正大学中国学研究会）
- 「曾慥の『集仙伝』と晁迥について」1997年5月
- 『新しい漢文教育』第24号（全国漢文教育学会）
- 「道教的舍利論」1997年9月『大正大学 中国学会会報』第12号
- 「尊崇陶淵明的仏教徒們」1997年12月『陶詩仏音辨』（四川大学出版）
- 「人の命は呼吸の間にあり－道教と仏教の人間観－」1998年12月
- 『国際化時代のアイデンティティ』（春秋社）
- 「外典を中心とした選択思想の系譜」1998年9月
- 『仏教文化研究』第42・43合併号（選択集特集2号）（浄土宗教学院）
- 「地獄思想による道仏二教の教化論」1998年12月
- 『水谷幸正先生古稀記念論集 仏教福祉・仏教教化研究』（思文閣出版社）
- 「道教と浄土教（1）－序説－」1999年9月
- 『佛教論叢』第43号（浄土宗教学院）
- 「道教の香思想（1）－曾慥の『類説』所収の『香譜』等の資料的価値－」
- 2000年3月『大正大学大学院研究論集』第24号

「道教典籍の中の『難経』について－曾慥及び扁鵲伝説を中心として－」

2000年3月『中国学研究』第19号

「道教戒律による道教の宗教教育」2000年6月『齋藤昭俊教授古稀記念
論文集 仏教教育・人間の研究』（齋藤教授古稀記念論文集刊行会）

「仙人の匂い－中国の道教と香－」2001年1月『香りの比較文化誌－東
の「香」から西の「アロマテラピー」まで－』（北樹出版）

「道教と浄土教（2）－道教典籍における浄土等の語の用例について－」

2001年2月『阿川文正教授古稀記念論集 法然浄土教の思想と伝歴』
（山喜房仏書林）

「儒仏道三教比較」2001年3月

『儒教の本』ボックス・エソテリカ第26号（学研）

「道教における経典の読誦について」2001年5月『石上善応教授古稀記
念論文集 仏教文化の基調と展開』（山喜房仏書林）

「漢詩文から学ぶ人の心」2001年9月

『仏教文化講座だより』61号（三十三間堂）

「養生法・導引・房中術」2001年12月

『東洋医学の本』ボックス・エソテリカ第28号（学研）

「道教を中心とした舍利論」2002年3月

『日中浄土』第14号（日中友好浄土宗協会）

「メディアの先駆者 善導大師」『桜井教授退任記念文集』2002年7月

「儒教の礼法と道教の瞑想による心身管理」2002年6月

『大正大学学報』77号

「道教と呼吸」2002年10月『鍼汪』第33号

「食文化の基層－道教と食－」2003年7月

『中国食文化の歴史』（株式会社NHKエンタープライズ21（制作）
バンダイビジュアル（発行））

「中国の思想と文学における無常観」2004年1月

『小野塚幾澄博士古稀記念論文集 空海の思想と文化』（ノンブル社）

- 「道教における人間の気・土地の気・食物の気について」2004年2月
『宮林昭彦教授古稀記念論文集 仏教思想の受容と展開』第2巻（山喜房仏書林）
- 「目出度さもちう位也おらが春」の意味－小林一茶の浄土念仏信仰
2004年3月『教育と文化 高山信雄教授古稀記念論文集』
- 「曇鸞『調気論』の注解者王劭と聖武天皇『雑集』中の王居士の関係」
2004年4月『東洋の歴史と文化 佐藤成順博士古稀記念論文集』（山喜房仏書林）
- 「空海の『三教指帰』を読む」2004年6月『大法輪』71号（大法輪閣）
- 「道教と密教」2004年6月
『インド学諸思想とその周延 佛教文化学会十周年北條賢三博士古稀記念論文集』（山喜房仏書林）
- 「道教における瞑想について」2004年12月
『印度学仏教学研究』53巻1号（通巻105号）
- 「『法然上人伝記』（醍醐本）と義演准后について」2004年11月
『浄土学仏教学論叢 高橋弘次先生古稀記念論集』第1巻（山喜房仏書林）
- 「中国仏教史における陶淵明と謝靈運」2006年3月
『仏教文化研究』第50号（浄土宗教学院研究所）
- 「仏教と道教の『父母恩重経』の出現について」2006年11月
『仏教 文学 芸能 関山和夫博士喜寿記念論集』（思文閣出版）
- 「曇鸞における仏教と道教」『日中浄土』第19号 2008年9月
- 「道教思想を中心とした人間の寿命論」2010年1月
『中国研究集刊 総50記念号』（大阪大学中国学会）
- 「貝原益軒の『養生訓』に学ぶ」2010年9月『蓮華』第79号（三十三間堂）
- 「念仏者の執念」2010年11月『科学と仏教思想』2010（埼玉工業大学先端科学研究所）
- 「法然上人の伝記と中国思想（一）－法然上人行状絵図を中心として－」

- 2011年3月『仏教文化研究』第55号（浄土宗教学院）
「源智造立願文の教道嚴訓の思想について」2012年3月
『佛教論叢』第56号
「法然上人の「樵・草刈・菜摘・水汲」の御法語について」2013年3月
『佛教論叢』第57号
「善導教学における中国思想（一）－二河白道を中心として－」
2014年10月『廣川堯敏教授古稀記念論集 浄土教と佛教』（山喜房仏書林）
「善導教学における中国思想（二）－抑止門を中心として－」
2014年3月『西山学苑研究紀要』第9号 関山和夫先生追悼記念（京都西山短期大学）
「散華とその模様について」2015年3月『佛教論叢』第59号
「善導教学における中国思想(三)－正坐舌柱上脛と太一生水について－」
2015年11月『仏教文化学会紀要』第24号
「法然上人の伝記と中国思想（二）－善導の半身金色仏相と紫雲五丈の飛昇について－」2016年6月『浄土学』第53号
「古人の叡知に学ぶ職業と人生」2019年6月
『若い世代へのメッセージ』（埼玉工業大学）
「観音の名称について」2019年1月『佛教文化学会紀要』第27号
「聖武天皇宸翰雑集の王居士は王劭である」2020年3月
『蓮花寺佛教研究所紀要』第13号
「王日休と王氏神仙伝について（前半）」2022年3月
『仏教文化研究』第66号 「(後半)」2023年3月
「陶弘景と慧思の内丹外丹に就いて」2023年3月
『蓮花寺佛教研究所紀要』第16号

その他

[小論文]

「いさかいをやめる」1959年6月『在家仏教』第63号
「ほとけをえん（先徳のあゆみ）」1960年5月『在家仏教』第74号
「人生幻化に似たり」1984年1月『NHK学園 こくご』1984年1月号
「NHK高校古典（漢文の部）」1984年4月『NHK高校古典の心』
「漢詩に現れた親子の情」1986年9月『NHK学園』第24巻4号
「写経と誦経－道教を中心として－」1955年『儀礼文化ニュース』
「道教と写経の歴史」1996年1月『中外日報』1996年1月9日号
「戒香・定番・慧香」2002年5月『アロマリサーチ』第3巻第2号
「吉田兼好・与謝蕪村・石田梅岩」2006年5月
『日本のこころ・100のことば』（未来塾・明德出版社）

[書評]

『遣唐使』森克己著 至文堂
『宗教学年報』第5輯（1955年12月 大正大学宗教学会）
『陶淵明』海知義著 岩波書店
『宗教文化』第13輯（1958年12月 大正大学宗教文化研究会）

[辞書 辞典]

『哲学事典』「無心」他（1971年4月 平凡社）
『小学館百科事典』「神仙思想」他（1984年3月 小学館）
『中国思想辞典』「張角・僻穀」他（1984年4月 研文出版）
『中国食文化事典』「道教と中国食文化」「医食同源・薬食一如」「中国の食の禁忌」（1988年3月 角川書店）
『福武漢和辞典』「語義解釈」（1990年11月 福武書店）
『道教事典』「道教靈驗記」他（1994年3月 平河出版社）
『中国文化史大事典』「王冰、孫思邈、導引、養生」他（2013年5月 大修館書店）